

市制 100 周年記念「市の木、花、鳥」の制定について

総合政策部 まちの魅力創出課

電話 0284-20-2261

現在、本市では、「市の木」を名草の石割り楓を象徴とする総称した「カエデ」、「市の花」を足利公園のつつじを象徴とする総称した「つつじ」としておりました。

このたび、市制 100 周年記念事業として、「市の木、花、鳥」を実行委員会の提言をもとに新たに制定します。

1 経緯

市民からの意見募集や専門家の意見をもとに、

ア) 市民に親しみがあり愛着が持てること

イ) 新たな市のシンボルとして、市の魅力や優位性を訴求できること

を重点に、市制 100 周年記念事業実行委員会で選定した最終候補を市で検討しました。

2 制定内容、理由

(1) 市の木

イチョウ

(理由)

市民投票での得票数が一番多く、本市の誇れる歴史的財産のひとつである鑿阿寺には、栃木県指定天然記念物に指定されている大イチョウがある。また、史跡足利学校や市内の神社、街路樹、公園などにも広く植えられ、市民からも親しみのある木である。

(2) 市の花

フジ

(理由)

市民投票での得票数が一番多く、世界一の大藤として市内外の多くの方が訪れるあしかがフラワーパークには、栃木県指定天然記念物に指定されているフジがある。また、市内の社寺や公園などにも植えられ、市民からも広く

